

年 組 番 名前: (男・女)

※保護者の方へ: 矢印の当てはまる項目の口をチェックし、症状等を記入してください。

1) 脊柱側弯症(せきちゅうそくわんしょう)	保護者記入欄	検診結果
	☐ ①両肩の高さに差がある ☐ ②肩甲骨の高さと突出の程度に左右差がある ☐ ③ウエストライン(腰の脇線)が左右非対称である ☐ ④前屈した時に左右の背の高さに差がある ☐ 該当する項目なし ☐ 治療・経過観察中	☐ 精密 ☒ 経過観察 ↓ 整形外科専門医の受診をお勧めします。 ☐ 異常なしです

「治療・経過観察中」の項目について

今年度の健康診断で、脊柱側弯症の診断が

おりたり、経過観察中の子どもがいました。

その人たちは管理をして生活をしています。

そこで、そのような人のために新しい項目を

作りました。

4) 以下の腕 脚等の動作を行い、当てはまる項目の口をチェックをしてください。		
①肘を曲げた時に手指が肘を完全に伸ばせますか？ 肩につきますか？ 	☐ 治療・経過観察中 ☐ できる ☒ できない ↓ ● 痛みがありますか？ ☐ はい ☐ いいえ	☐ 経過観察 ☒ 精密 ↓ 整形外科専門医の受診をお勧めします。
②両腕を上げて、無理なく腕が耳につきますか？ 	☐ 治療・トレーニング中 ☐ つく ☒ つかない ↓ ● 痛みがありますか？ ☐ はい ☐ いいえ	☐ 経過観察 ※別紙トレーニング法を参照してください。 ☒ 精密 ↓ 整形外科専門医の受診をお勧めします。
③片脚立ちから秒以上できますか？(左右交互に) ※転倒しないように注意して実施してください。 	☐ できる ☐ できない ☐ トレーニング中	☐ 経過観察 ※別紙トレーニング法を参照してください。
④かかとをつけたまま、無理なくしゃがめますか？ ※転倒しないように注意して実施してください。 	☐ できる ☐ できない ☐ トレーニング中	☐ 経過観察 ※別紙トレーニング法を参照してください。

※ ご記入が無かった場合は「該当なし」と判断させていただきます。

「治療・経過観察中」「トレーニング中」の項目について

上記と同じく、今年度の健康診断で専門医を

受診し、治療・経過観察・トレーニング中の

子どもがいます。その子どもたちのために

新しい項目を作りました。

また、今年度アンケートをとったとき、特別支援

学級在籍児童の多くが「できない」という項目

にチェックが入っていて、この項目に毎年「でき

ない」というチェックを入れてもらうことはどうな

のかという意見が多くの学校から出されました。

以上の理由で新しい項目を作りました。